

自治基本条例啓発リーフレット作成ワークショップ 開催結果

1 第1回

- (1) 日 時 平成29年6月27日(火) 18:20~20:20
- (2) 会 場 野幌公民館研修室5号
- (3) 参加者数 市内4大学(北海道情報大学、札幌学院大学、北翔大学、酪農学園大学)の学生 12名(1名欠席)
- (4) 内 容 市職員による講義「江別市の紹介と自治基本条例の概要」を行った。前段で江別市の特色などを紹介し、後段で自治基本条例の概要について説明した。自治基本条例で定められている市民自治の基本原則のうち、特に「市民参加・協働の原則」について、事例を交えて解説した。また、次回のワークショップで話し合ってもらうテーマ(設定)についても合わせて説明した。

2 第2回

- (1) 日 時 平成29年7月4日(火) 18:30~20:35
- (2) 会 場 野幌公民館研修室5号
- (3) 参加者数 市内4大学の学生 13名
- (4) 内 容 参加者を2班に分け、A班は「市民参加」、B班は「市民協働」をそれぞれテーマとし、班ごとに意見交換を行った。

<A班>

○テーマ「まちづくりに参加するために必要なこと」

○設定(架空の話)

江別市では、市内4大学と市街地や新札幌とを結ぶ公共交通に関する計画を、市民参加の手続きを経て、作成します。

Q1 あなたなら、計画の作成に参加したいですか。その理由は何ですか。

Q2 参加したい場合、どの方法を希望しますか。

- A 公共交通計画作成委員会の委員に申し込む。(附属機関等)
- B 公共交通計画(案)に対しての意見を提出する。(パブリックコメント)
- C 公共交通計画に関する説明会に出席する。(市民説明会)
- D 公共交通に関するワークショップに参加する。(ワークショップ)
- E 送られてきた公共交通に関するアンケートに回答する。(アンケート調査)

○討議結果(主な意見)

Q1

【参加したい】

- ・今の交通網では不便である。 ・参加を通じて4大学の学生と交流したい。
- ・参加を通じて人脈が広がる。

【参加したくない】

- ・面倒。 ・意見が通る気がしない。

【参加してもらうために】

- ・江別の食材などをプレゼントする。
- ・アイドルのコンサートに対しての参加券をあげる。

Q 2

A（附属機関等）

【参加したい】

- ・一番意見が通りやすい。　・言うだけ言ってもいい。　・報酬がある。

【参加したくない】

- ・かたいイメージ。　・責任が大きい。

【どうすれば参加するか】

- ・写真やマンガとかを使って、その附属機関等を分かりやすく説明してほしい。

B（パブリックコメント）

【参加したい】

- ・手軽

【参加したくない】

- ・面倒。案を全部見るのがしんどい。　・レポートみたい。　・意見が通りにくい。

【どうすれば参加するか】

- ・意見を提出したことによって変わった事案をもっとPRすべき。

C（市民説明会）

【参加したい】

- ・気軽に参加できる。　・直接意見を言える。　・質問できる。

【参加したくない】

- ・時間と場所による。　・時間の無駄。　・予備知識がないと話についていけない。

【どうすれば参加するか】

- ・江別のHPに説明会の動画を載せて見られるようにしたらいいと思う。

D（ワークショップ）

【参加したい】

- ・身近な意見を聞ける。　・気軽に行ける。　・色々な意見の人に会える。
- ・人とのつながりが出来やすい。

【参加したくない】

- ・初対面の人と話せない。　・気負うことになる。　・影響力が無さそう。

【どうすれば参加するか】

- ・違うジャンル（皆が興味を持っているセミナー）とくっつける。

E（アンケート調査）

【参加したい】

- ・手軽。　・簡単なイメージ。

【参加したくない】

- ・忘れる。　・面倒くさい。　・大勢の中の1票。

<B班>

○テーマ「自分に出来る協働のまちづくりとは？」

○設定

今、江別市においても高齢化が進んでいます。そのため、地域活動を行っている自治会やNPO法人などの市民活動団体にて、担い手の高齢化と言う課題が生じています。

Q1 あなたは、自治会や市民活動団体で活動していますか。または、したことがありますか。

(していれば、) その理由は何ですか。

(していなければ、) その理由は何ですか。また、活動してみたいですか

Q2 課題を解決するための方法は？

○討議結果（主な意見）

Q1

自治会

地域差が出る。地域によって自治会の雰囲気は違う。

【参加している（したことがある）】

- ・町内会が活動的だったため、いやいや参加しているとか、自らやっているという感覚はなく、自然とやっている。
- ・楽しいから参加している。

【参加していない（したことはない）が、してみたい】

- ・参加方法がわからない。　・活動時間が取れない。

【参加していません、したくない】

- ・何をしているか分からない。　・時間がない。
- ・お年寄りが多くて若い人が少ないから入りづらい。

市民活動団体

自治会よりも自由なイメージがある。

【参加している（したことがある）】

- ・参加したきっかけは、知り合いや先生の紹介があったから。
- ・メリットとして大学の単位がもらえる。
- ・活動によっては、お金が出るものもある。
- ・他の人とつながりができて、自分の知らない知識が得られる。

【参加していない（したことはない）が、してみたい】

- ・時間が取れない。　・若い人が多そう。

【参加していません、したくない】

- ・やりたいものがなかったから。　・興味がない。

- ・ 溶け込めるか、コミュニケーションが不安。

Q 2

高齢化が進んでいるという課題の解決

【広報】

- ・ 活動を知ってもらう。 ・ 宣伝方法を工夫する。

【制度】

- ・ 同じ役員が何年も続いたら、部活のOB・OG制度のように引退する。

【会議】

- ・ インターネットが普及しているので、スカイプで会議をする。

3 第3回

- (1) 日 時 平成29年7月11日(火) 18:30~20:30
- (2) 会 場 野幌公民館研修室5号
- (3) 参加者数 市内4大学の学生 13名
- (4) 内 容 参加者を第2回と同じ班に分け、第2回の検討結果を踏まえて、リーフレットで伝えたいことを話し合った。グループワークの後段では、どうしたらリーフレットを手にとってもらえるか、アイデアを出し合った。

< A 班 >

● テーマ「リーフレットで伝えたいこと」(市民参加)

○ 討議結果(主な意見)

- ・ 市民参加を柔らかく見せる。
- ・ 市民参加は硬いという固定概念を崩したい。
- ・ 「委員会が硬い」というイメージがあったので、ニコニコした写真や図を載せる。
- ・ ワークショップの流れを、分かりやすく柔らかく伝える。
- ・ 委員会に出るとお金(報酬)がもらえるということを書くと、リーフレットを見た人が参加してみようかなと思うのではないかな。

● テーマ「どんなリーフレットだったら手に取りたいと思うか」

○ 討議結果(主な意見)

デザイン

- ・ インパクトのあるデザイン。
- ・ A3という話だったが、江別の有名な野菜のブロッコリーの形にしてみる。ポストにブロッコリーの茎が出ていたら、手にとってみたくなると思う。
- ・ 斬新なデザインにすれば、皆見てくれるのではないかな。

置き場

- ・ バスを待っているときなど、暇な時間に何もやることがないと見てくれる。
- ・ 高速バスの座席の前のネットに入れる。
- ・ エレベーター。

- ・大学・病院・市役所の個室のトイレ。
- ・サウナ。コーティングして貼る。
- ・喫煙所。
- ・住民票を入れる封筒にあらかじめ入れておく。

その他

- ・リーフレットの中に小さなえべチュンを入れて、「えべチュンをさがせ」のようにする。
- ・高校生や大学生の若い世代に、見たいという思いを掻き立たせるようなものにする。

<B班>

●テーマ「リーフレットで伝えたいこと」（市民協働）

○討議結果（主な意見）

- ・何をやっているか分からない人が多いと思うので、過去に行われた事例の写真やどういうことが行われたかを載せて、こういう活動があるということを皆さんに知ってもらおう。
- ・過去の事例の後にこれからの予定が書かれていると、興味が湧いて参加してくれるのではないかな。
- ・どんな自治会やNPO法人があるかを載せる。
- ・その活動をして得られるもの、メリットを載せると、若い人は興味が湧いてくるのではないかな。

●テーマ「どんなリーフレットだったら手に取りたいと思うか」

○討議結果（主な意見）

表紙

- ・ゲームの表紙のようなスタイリッシュさのあるもの。
- ・ファッション雑誌のようなおしゃれな感じのデザイン。
- ・あまり派手すぎない、落ち着いた色のもの。
- ・インパクトがあるビジュアルのもの。

内容

- ・あまり複雑に説明して、手に取ってもらっても読んでもらえないと意味がないので、シンプルで簡単に見やすく説明する。
- ・過去の活動の写真や四季折々の写真を載せる。
- ・えべチュンを取り込んで、えべチュンに説明させる。

方法

- ・新入生オリエンテーションや入学式。
- ・成人式。
- ・まちづくり学生サミット。（他の大学とまちづくりについてグループ実習などを行うもの。江別にも4大学があるので、まちづくりについて交流しながら話し合う学生サミットがあるといいと思った。そこに、ポスターとパンフレットを置いたらいいのではないかと思った。）

設置場所

- ・大学内に置く。
- ・通学途中に置く。(バス停、バスの中、駅など)
- ・コンビニ、スーパー、飲食店、居酒屋に置いてあると手に取ってもらえるのではないか。